

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	所沢市子ども・子育て会議（令和8年度第1回）
開 催 日 時	令和8年5月28日（木） 午後2時00分から午後4時00分まで
開 催 場 所	市役所6階604会議室
出席者の氏名	（会議録別表1）のとおり
欠席者の氏名	（会議録別表1）のとおり
議 題	議事 （1）子ども・子育て会議の概要 （2）各事業の進捗状況報告 （3）基本目標に対する指標の進捗状況報告 （4）乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度） 状況報告
会 議 資 料	・会議次第 ・席次表 ・資料1：子ども・子育て会議の概要について ・資料2：所沢市こども計画 令和7年度進捗状況報告 ・資料3：所沢市こども計画 基本目標に対する指標の 進捗状況報告 ・資料4：乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度） チラシ ・追加資料1：委員名簿 ・追加資料2：事前にいただいたご意見等一覧
担 当 部 課 名	こども未来部 草薨部長、松井次長、清水参事 こども政策課 溝井課長、糟谷主査、坂田主査、 高谷主任、奥山主任、奥主事、 市川主事 こども支援課 田井課長 こども福祉課 藤澤課長 青少年課 粕谷課長、菊地主査 保育幼稚園課 高橋主幹、平井副主幹、柳澤主査 こども家庭センター 美甘センター長、矢野主幹  (事務局) こども未来部こども政策課 電話04-2998-9415

会議録

(会議録別表 1)

所沢市子ども・子育て会議委員会名簿

	氏名	出欠席状況	選出母体等
1	梅本 典明	出席	市民公募（6歳未満）
2	工藤 健一	出席	市民公募（6歳以上12歳未満）
3	中村 恵美子	欠席	市民公募（6歳以上12歳未満）
4	櫻井 七虹	出席	市民公募（18歳以上23歳未満の若者）
5	野本 理恵	欠席	所沢商工会議所
6	渡辺 良雄	出席	所沢地区労働組合協議会
7	藤宮 友紀子	出席	所沢市私立幼稚園協会
8	川口 貴史	出席	埼玉県保育協議会
9	私市 千佳	出席	地域型保育事業運営団体
10	小松 君恵	出席	地域子育て支援拠点事業運営団体
11	赤池 慎一	出席	所沢市青少年育成推進員協議会
12	喜多濃 定人	出席	児童館運営事業者
13	大熊 美佳子	出席	学校法人 秋草学園 秋草学園短期大学
14	可知 悠子	出席	早稲田大学
15	仲田 智宏	出席	所沢市立小中学校校長会
16	大野 明美	出席	所沢市民生委員・児童委員連合会
17	小沢 貞泰	出席	子ども・子育て支援関係者
18	竹内 和代	出席	子ども・子育て支援関係者
19	田口 眞弓	欠席	子ども・子育て支援関係者
20	田代 郁子	出席	所沢市 PTA 連合会

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>～ 開 会 ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 委嘱状交付</li> <li>■ 市長挨拶</li> <li>■ 委員・事務局職員紹介</li> <li>■ 会長・副会長の選出</li> </ul> <p>会長に大熊委員、副会長に仲田委員を推薦する。 他に立候補、推薦はないため、会長：大熊委員、副会長：仲田委員に決定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 会長挨拶</li> <li>■ 副会長挨拶</li> <li>■ 会議の公開・非公開等の検討</li> <li>■ 傍聴確認</li> <li>■ 資料の確認</li> </ul>
事務局	<p>《議事1の「子ども・子育て会議の概要」について》 ～事務局より資料1に基づき説明～</p> <p>【質問等無し】</p>
事務局	<p>《議事2の「各事業の進捗状況報告」について》 ～事務局より資料2に基づき説明～</p>
委員	<p>資料2のNo4のところっこ子育てサポート事業について、令和6年度にこども家庭センターができた影響かと思われるが、相談件数が倍増している。相談を受ける体制や人数に問題はないか。また、課題はあるか。</p>
事務局	<p>（こども家庭センター） こども家庭センター型の相談件数について、令和6年度までは母子保健型として主に妊娠・出産に関する相談件数を計上していたものが、国の運用変更に伴い令和7年度よりこども家庭センター型となり、妊娠・出産に関する相談件数に加え、地区担当保健師による継続支援の相談件数も計上することになったため、相談件数が増加したものの。体制については、センター内の職員が連携し対応に努めている。</p>
委員	<p>資料2の表全体で、評価の列を確認すると全てに「○」がついてい</p>

	<p>る。しかし、確保の内容（計画書記載内容）と利用実績の数値を確認すると、未達のものも多数ある。未達であるにも関わらず、「○」がついているのはなぜなのか。具体的には、一般型一時預かり事業は実績 20,817 人に対して計画値 92,800 人で達成率は 22%、地域子育て支援拠点事業は実績 202,975 人に対して計画値 321,800 人で達成率は 63%、病児・病後児保育事業は実績 385 人に対して計画値 4,640 人で達成率 8%と、数値だけ見るとそのように読み取れる。評価が「○」となっているが、「×」なのではないか。評価を間違えると、不十分だからそれをどのように改善していくかの議論にならないため、計画を策定し遂行していく意味がないのではないか。特に病児・病後児保育事業においては、数値の乖離があまりにも大きいと、計画策定時の需要推計に問題があったのではないかとと思われるが、これらの点について伺いたい。</p>
事務局	<p>（こども支援課） 資料 2 の表の見方について、病児・病後児保育事業の計画値 4,640 人は年間で最大受け入れ可能な人数を表しており、実際に利用する人数の見込みではない。病気の方が多ければ良いというものではないため、計画値 4,640 人に対して利用実績 385 人が多いか少ないかの判断は難しい。仮にこれぐらいの人数が病気になっても預かることができということを表記したものであり、大きく数値が乖離しているもの。</p>
委員	<p>この表に記載された計画値は、供給量の最大値であって、需要量の見込み数は別にあるのか。</p>
事務局	<p>（こども政策課） 資料の記載が不十分な点があり申し訳ない。確保の内容は供給できる最大値を表しており、目標値とは異なる。資料には記載していないが、計画書の中で「量の見込み」というものを掲載しており、その数値が需要の見込み値になっている。</p>
委員	<p>保育園の入園希望の申請数は何件か。 2 月の不承諾通知数は何件か。 待機児の見込み数が分かれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>（保育幼稚園課） 令和 8 年 4 月の申請件数は 1912 件。</p>

<p>委員</p>	<p>これに対する不承諾は609件となっている。 待機児の数については、7月に埼玉県の発表があるのでそちらをお待ちいただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>不承諾609件は多いと思うが、事務局としてどのように考えているか。</p> <p>(保育幼稚園課)</p> <p>609件は、一次審査後の入所保留の数になっている。その後、追加審査などを行い、入所保留の児童を減らす努力をしている。例えば、一次審査の時点では希望していない施設に空きがある場合は改めてご案内し、再度希望していただくことで4月までに入園できるように努めている。</p>
<p>委員</p>	<p>609件となると、60人定員の施設が10か所必要になる。これは、保育園を建てないと賄いきれないのではないか。また、大規模開発があれば、保育園を整備しなくてはならないと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>(保育幼稚園課)</p> <p>609件には、すでに保育園に入所しており、転園を希望する方も含む数になっている。</p> <p>(こども政策課)</p> <p>大規模開発の予定がある場合は、計画を見直し、まずは既存施設の定員見直しを行い、必要があれば新設も検討する。</p>
<p>委員</p>	<p>この議題について事前質問をさせていただき、追加資料2で回答いただいた。確保の内容と利用実績のギャップについて、利用ニーズがあっても制度を知らなくて利用に至っていないのか、ニーズがあっても受け入れ態勢が整っていないのか、背景を理解することが大切。</p> <p>No15のファミリー・サポート事業とNo17の子育て短期支援事業は、潜在的なニーズが高いと思う。ただ、受け手がいないことが課題である。仕事をしていない方に担っていただくという考えだと担い手がなくなっていくので、仕事をしながら隙間時間に担っていただくということも検討してみてもどうか。フリーランスの方なども隙間時間にできるような雰囲気作りができると良いと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>地域型保育事業について、三ヶ島には2歳児までの小規模保育事業所がない。小規模保育事業所を開設すれば待機児童が減るのではない</p>

	<p>か。</p> <p>児童館では、月 3 回職員と親子の交流イベントを行い子育て支援をしていた。しかし、三ヶ島ではそのような活動がないので、三ヶ島でも行ってみれば親子の支援になるのではないか。</p> <p>No 1 3 の放課後児童健全育成事業について、サマープレイスを実施しているとのことだが、学童に申請をしていないとサマープレイスには申込みできないと案内された。待機児童が多いため、特に 4 ～ 6 年生は学童には入れないから、学童に申請はせずに、ほうかごところを利用している児童は多い。しかし、ほうかごところは給食のある日しかないため、夏休みに預け先がない。放課後ところを利用しているが、学童に申請していないとサマープレイスに申込みできないという現行の制度は問題があるのではないか。改善して欲しい。</p>
<p>会長</p>	<p>時間が限られているため、この議題はここまでとする。回答や質問については、会議後にメールでお送りいただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>《議事 3 の「基本目標に対する指標の進捗状況報告」について》 ～事務局より資料 3 に基づき説明～</p>
<p>事務局</p>	<p>傍聴希望者がいるため入室してよいか。 1 名入室</p>
<p>委員</p>	<p>No 6、No 1 0 に利用者満足度があるが、実際の利用者全員にアンケートを取っているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>(こども支援課)</p> <p>No 6 のこども支援センターの利用者満足度については、全ての利用者ではなく、ひろば利用者 3 0 0 名にアンケートを行い、職員の対応や施設の満足度を伺っている。また日常的にも利用者の声などを伺っている。</p> <p>(こども福祉課)</p> <p>No 1 0 の利用者満足度については、8 月と 1 月の年 2 回、合計 4 2 0 名にアンケートを取り反映している。</p>
<p>委員</p>	<p>発達支援について、施設の拡充などを行っているとのことなのだが、自分の地域では発達障害に該当するか否か判断できず悩まれている方や相談できる場所や制度を知らないという方がいる。広報や周知はされているのか伺いたい。</p>

<p>事務局</p>	<p>(こども福祉課)</p> <p>広報紙、HPにて周知している。また、こども家庭センターで実施する乳幼児健康診査でも紹介している。</p>
<p>委員</p>	<p>マーガレットで相談して結果的に専門機関へ案内されるが、保護者の受け入れが難しい場合もあるので、その際にフォローがあると良いと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>(こども家庭センター)</p> <p>こども家庭センターでは、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を実施しており、受診率96%程度。3歳児健康診査では、受診者全員に対して相談先を記載したリーフレットを配布し、周知している。</p>
<p>委員</p>	<p>No15について、安心できる場所の数が1つ以上ある、の定義が分からない。息子の場合は、公園が無くなってしまった。また、自宅付近は道路が狭く車が飛ばして通るなど危険なところがある。</p> <p>そのため、公園の確保をしていただくとか、道路が狭く危険なところを解消するとか、安心できる場所の定義を拡大して検討いただければありがたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>(こども政策課)</p> <p>安心できる場所の定義についてだが、安心できる場所やほっとできる場所はあるかという設問でアンケートを取っている。家や学校、インターネット空間などのほか、公園も1つの居場所として捉え、選択肢として設定している。</p> <p>こども計画の中でも、関連する事業として公園の整備についても掲載し推進していくものとしている。</p>
<p>委員</p>	<p>No1について、現状値27.8%に対して令和11年度の目標が70%となっており、非常に高い目標値となっている。この目標を達成するためには、途中経過を確認する必要があるのではないか。国の指標であり、国のアンケート調査を反映したものかと思うが、所沢市でも簡易なアンケート調査を実施し、途中経過が確認できると良いと思う。</p> <p>No2の待機児童数について、潜在的な待機児童は学童クラブに限らず保育園についてもいると思う。令和7年度には1人とあるが、潜在的な人がいるのかも確認しているか伺いたい。</p>

<p>事務局</p>	<p>(こども政策課)</p> <p>No1の指標については、国のアンケート調査結果であり、国が掲げている目標から抜粋したものになっている。国の直近の調査結果については、令和7年度に公表されている数値で30.6%になっている。市で独自に調査し途中経過を確認できるかは予算の関係もあり難しいが、方策がないか検討していきたい。</p> <p>(保育幼稚園課)</p> <p>待機児童の数について、待機児童以外にも入所保留となった方は多くいるということは重く受け止めている。ご希望に沿えなかった方に対してどのようなフォローできるか考えていきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>≪議事4の「乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)状況報告」について≫</p> <p>～事務局より資料4に基づき説明～</p>
<p>委員</p>	<p>実施開始後の保育園などの受け入れ態勢などはどうか</p>
<p>事務局</p>	<p>(保育幼稚園課)</p> <p>4月に事業開始したため、4月の受け入れ実績は1園であった。利用の認定を受けたお子様はすでに300人以上いるため、今後各施設で実績の増加が見込まれる。預かる前には各施設で事前に面談を行い、予約が入れば順次受け入れている状況。</p>
<p>委員</p>	<p>以前の会議で、事前面談を実施するだけでは、施設にお金が入ってこないという話があったが、施設に対して所沢市独自で何か補助はあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>(保育幼稚園課)</p> <p>所沢市独自ではないが、事前面談を実施した場合に国の制度で加算が付くこととなった。</p>
<p>委員</p>	<p>初年度になるので、事業運営について検証する大事な年になる。事業運営の検証や評価の準備はされているのか。</p> <p>施設によって実施形態が異なるので、実施形態による違いについても検証する必要がある。また、利用者についても、どのような家庭が申し込みしていて、どのような家庭が申し込みしていないのか、保護者のレスパイトによる虐待予防も期待されている事業なので、ハイリ</p>

	<p>スク家庭が利用につながっているかなど、どのように把握していく予定か伺いたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>(保育幼稚園課)          実態把握や評価の詳細は現段階では固まっていない。実績を重ねていく過程で聞き取りなどを行っていきたい。利用者の状況については、施設に確認し、把握していきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>保育園側の意見として、すでに事業を実施している園の保育士の意見も聞き取っていただき共有していただけると、事業実施の検討材料になる。</p>
<p>事務局</p>	<p>(保育幼稚園課)          利用者側だけでなく、施設側の状況も伺っていききたい。</p>
<p>委員</p>	<p>入所保留609件とあったが、育児休暇延長申請のための入所保留も含まれているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>(保育幼稚園課)          含まれている。</p>
<p>委員</p>	<p>保育施設を新たに新設する計画はあるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>(こども政策課)          今年度の入所状況を確認しているところである。</p>
<p>委員</p>	<p>利用できるこどもについて、なぜ3号認定にあたる3歳未満だけなのか。1号・2号認定の方が含まれていないが、将来的には含まれるといいと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>(保育幼稚園課)          満3歳以上のお子様は保育の必要性が認定されない場合でも幼稚園に通うことが出来ることから、対象としていない。</p>
<p>会長</p>	<p>以上で、本日の議事はすべて終了する。</p>
<p>事務局</p>	<p>■次回開催の案内          8月下旬の開催を予定</p>

	～ 閉 会 ～
--	---------